

Since1962. 広報湯前
あなたとまちをつなぐ情報誌

YUNOMAE

大きなスイカ、割れるかな？

9

The Monthly
Public Relations
Sep_2026
Vol.543



【特集】駆け抜けて、夏

大忙しの夏休み

遊んで、学んで、挑戦して、楽しんで…
夏はやることがたくさん
それぞれが全力で駆け抜けた、
大忙しの夏をお届けします



年長児による和太鼓の演奏。会場に力強い音色を響かせた

笑顔で囲む夏の夜

湯前保育園で夕涼み会開催

8月1日、湯前保育園で夕涼み会が開かれ、園児や保護者らが参加。涼し気な夏の装いに身を包み、普段とは少し違った園児のかわいらしい姿が見られました。

年長児による元気いっぱいの和太鼓演奏で幕を開けた夕涼み会。迫力のある太鼓の音が会場に響き、一体感が生まれました。その後、2歳以上の園児が一列に並んで夏を感じる歌を披露。緊張しながらも大きな声で楽しそうに歌う園児の姿に、参加者は釘付けになりました。総踊りでは、園児と保護者らが大きな輪になり湯前音頭を踊りました。

会場には保護者会役員や有志らによるかき氷や焼きそば、ヨーヨー釣りなどの出店が並び、園児たちは目を輝かせていました。少しずつ暗くなっていく会場に明かりが灯ると、一気にお祭りの雰囲気。うれしそうな表情を浮かべ、園庭を駆け回る園児もいました。参加者らは園庭にレジャーシートを広げて、出店で買った食べ物を食べながら、普段とはひと味違った夜の保育園で楽しい時間を過ごしました。



みんなで円になり、リズムに合わせて盆踊り

笑顔つながる夏祭り

慈光こども園で夏祭りごっこ開催

8月7日、慈光こども園で夏祭りごっこが開かれ、同園の園児と慈光学童クラブの児童らが参加。お面をかぶり暑い夏を吹き飛ばすように祭りを楽しみました。

初めは園児と児童らが踊る盆踊り。音楽に合わせて体を動かし、夏祭りごっこが始まりました。会場には園職員が考えたボウリングや魚釣りなど4店舗、慈光学童クラブの児童が手作りした射的やそうめん流し、クレーンゲームの3店舗が出店。どの出店に行こうかと目をキラキラさせる園児は、お祭りの雰囲気いっぱいの会場を駆け回っていました。慈光学童クラブの児童は園児に優しく声をかけて寄り添い、お祭りを盛り上げました。後半にはスイカ割りを開催。目をつぶったり、タオルで目隠しをして棒を振りかざす園児。見事大きなスイカが割れると、会場には歓声が響きました。

吉武絵里園長は「出店の内容を変え、工夫しながら毎年開催している。園児は夏祭りごっこを本当に心待ちにしていた。子どもたちの笑顔を見られてうれしく思う」と話しました。



しっかりと水を捉え、ぐんぐんと前へ進んだ工藤さん

夏空の下、水しぶきをあげて

海洋クラブ員が県B&G スポーツ大会に出場

7月19日、宇城市三角B&G 海洋センターで令和8年度熊本県B&G スポーツ大会が開かれ、本町B&G 海洋クラブ員4人が出場しました。同大会は熊本県B&G 地域海洋センター連絡協議会(長谷和人会長)が主催で水上の部・水泳の部・剣道の部を開催。県内のB&G 海洋センターから小中学生の出場者が集まりました。

本町からは水上の部に工藤維月さん(湯前小6年=下城)、高橋佳奈さん(湯前小6年=上里1)、古市楓さん(湯前小6年=上里3)の3人が、水泳の部に高橋誠さん(湯前小4年=上里1)が出場。太陽が照りつける厳しい暑さの中での大会でしたが、練習の成果を発揮し輝かしい成績を納めました。

【大会結果】※本町選手のみ

〈水上の部 カヌー競技〉

小学生6年生男子 ③工藤維月

小学生6年生女子 ①古市楓 ②高橋佳奈

〈水泳の部〉

小学生4年生男子 50m自由形・50m平泳ぎ ①高橋誠



緊張にも負けず力強く漕いだ古市さん(左)と高橋佳奈さん(右)



気持ちを一つに、チーム一丸となって試合に挑んだ

「最高のチームへ」1歩前進

湯前B.B.C 九州最大級の大会で2勝を挙げる

8月13～16日に今津運動公園野球場(福岡市)をメイン球場として開かれた「キッザニア旗争奪第41回とびうお少年野球大会」に、本町の少年軟式野球チーム「湯前BaseBallClub」が出場。九州・中国・四国・台湾から64チームが参加する九州最大級の歴史ある大会でベスト16入りを果たしました。

辛くも先制逃げ切りで初戦を突破した同チーム。2回戦は「西花畑ウインディーズ(福岡県)」に先制を許す厳しい展開となりましたが、最終回に粘りを見せ、逆転サヨナラで勝利を収めました。ダブルヘッダーとなった3回戦では「高取少年野球クラブ(福岡県)」の細かい継投策の前に苦戦。何度もチャンスを作りましたが、あと1本が出ずに敗退となりました。

県外のレベルの高さを感じることができた今大会。監督の澁谷秀明さん(下里)は「レベルの高いチームと戦い、大きな収穫を得ることができた。勝った喜び・負けた悔しさを忘れず、さらに練習を積み重ねて最高のチームにしていきたい」と話しました。





「湯前」を盛り上げるために

佐々木さん、地域おこし協力隊 4 年目へ

埼玉県から移住し、湯前町地域おこし協力隊として令和 5 年から活動する佐々木^{ゆうき}佑樹さん(32 = 下城)が、地域おこし協力隊 4 年目の道を歩み始めました。

地域おこし協力隊は、都市地域から移住し地域ブランドや地場産品のPR、農林水産業への従事などの地域協力活動を行いながら地域への定住・定着を図る国の取組で、任期は最長 3 年間です。まちは本年度から任期終了後も引き続き地域で活動ができるよう、独自の制度を新設。県内では初めての取組となります。

佐々木さんはグリーンパレスを拠点として 3 年間活動してきました。「子どものときにやってみたかったことをイベントにして、来場した人に楽しんでもらいたい」という思いから、自らイベントを企画。芝生広場を利用したマルシェや夏休み・ハロウィンなど季節の行事に合わせたイベントも開催し、多くの人を楽しませました。ほかにも SNS を活用してグリーンパレスやまちの魅力を発信するなど、活動を通して来場者だけではなく地域の皆さんとのつながりが深まりました。

4 年目以降も引き続きグリーンパレスで活動する佐々木さん。「3 年間、地域に愛着を持って活動してきた。活動を通して、グリーンパレスのように整備されているきれいな芝生がある施設は数少ないと知った。地域を盛り上げたい人たちのサポートをしてグリーンパレスをイベント会場などで利用してもらい、たくさんの人の心と体がかうおうような施設にしていきたい。湯前町独自の制度ができ、4 年目以降もグリーンパレスで活動ができることに感謝し、これまでの地域とのつながりを引き続き大切にしながら活動を続けていきたい」と新たな目標を掲げました。

人のうごき



7 月

人口 = 3325 人
(男 = 1581 女 = 1744)
世帯 = 1510 世帯
※ 7 月 31 日時点

結婚おめでとう

福田 匠(野中田 3)
木戸 千恵美(熊本市)
福屋 陸(瀬戸口)
熊部 英恵(人吉市)

ご冥福をお祈りします

蓑田 賢一郎(下城)
田上 重男(中里 1)
椎葉 ムツメ(中猪)

香典返し

泉川 留美(千葉県)
田上 桂子(中里 1 区)
蓑田 和賀子(下城)



声を掛け合い、協力して応援フラッグを完成させた協力隊 4 人

手作りで届けるエール

くま川鉄道全線開通に向けた応援フラッグ制作

本町と多良木町地域おこし協力隊が、全線開通するくま川鉄道を迎えるため、応援フラッグを作りました。

協力隊連携企画として本町地域おこし協力隊の炭屋ももさん(26 = 中里 2)と多良木町地域おこし協力隊の江崎^{あおい}葵衣さんが、8 月に大[※]ドローイング・応援フラッグ制作イベントを計画。同イベントは令和 8 年熊本地震発災のため延期となりましたが、両町地域おこし協力隊 4 人が協力してドローイングでのペイントと裁断を行い、400 本の手作り応援フラッグを完成させました。フラッグの中には、ことし 4 月に開いたイベントの参加者が描いたものもあります。

作品は両町それぞれに 200 本ずつ配布。8 月 16 日に開かれた「くま川鉄道に手を振ろう 記念動画撮影プロジェクト」で参加者が振り、くま川鉄道を応援しました。

炭屋さんは「幅広い年代の人にプロジェクトを知ってもらいたくて作った。1 枚の布から作ったことで、同じ祝う気持ちを共有できたのではないかなと思う」と話し、全線開通を心待ちにしていました。

※大きな布に自由に描くアート



1_ 一つ一つ気持ちを込めて作業を進める 2_ フラッグには炭屋さん手作りのスタンプ『LOVE くまてつ』の文字

▼ドローイングイベントを本町で開催！

《期日》9 月 6 日 《時間》①10:00 ~ 12:00 ②14:00 ~ 16:00

《場所》湯前駅レールウイング大屋根 ※申込不要、参加料無料



施設で開かれる夏祭りの準備。飾り付けを手伝った

体験から学ぶ

小中学生がワークキャンプに参加

ワークキャンプが夏休み期間に開かれ、湯前小・中学校の児童生徒が参加しました。同事業は福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動のきっかけづくりを行うことを目的に、湯前町社会福祉協議会が毎年夏休みに開いているボランティア体験です。

7 月 30 日に高齢者福祉センター湯愛で、8 月 5 日に特別養護老人ホーム福寿荘で、6 日に特別養護老人ホーム桜の里(水上村)で開かれ、計 6 人の児童生徒が参加しました。福寿荘では加藤^{さえこ}紗英子さん(湯前中 2 年 = 下村)と葉山^{さち}紗智さん(同 2 年 = 上里 1)が施設内で開かれる夏祭りの準備や施設の掃除などを体験。桜の里では、椎葉^{りゅうしん}琉心さん(同 3 年 = 野中田 3)と那須^{りおん}凜音さん(同 3 年 = 上里 3)が利用者とのお話やベッドのシーツ交換などを体験しました。福寿荘に行った葉山さんは「高齢者疑似体験やシーツ交換など慣れていないことを体験できた。体験を通して、ひいおばあちゃんにも同じように接してあげたいと思った」と体験したことを実生活でも生かせるという気付きを話しました。



農業委員・農地利用最適化推進委員改選

7月21日に役場洋会議室で開かれた農業委員会総会で、農業委員8人と農地利用最適化推進委員7人の改選が行われました。委員の互選で農業委員会会長は前川敏幸さんに決定。任期はともに令和11年7月19日までの3年間です。農地利用最適化推進委員は農業委員会が委嘱し、農地の利用や遊休農地の発生防止・解消などを農業委員と連携して進めます。



浜川・下城・古城



農業委員
ながた へいま
永田 平馬 (70 = 古城)



農地利用最適化推進委員
しばた こうじ
柴田 浩二 (59 = 浜川)

浅鹿野・上猪・中猪



農業委員
ふかみ しげる
深水 茂 (67 = 中猪)



農地利用最適化推進委員
やまもと たけし
山本 武志 (69 = 浅鹿野)

野中田1・3・田上



農業委員
ふかみ のぶとし
深水 信俊 (56 = 野中田3)



農地利用最適化推進委員
ひらかわ あつし
平川 篤 (67 = 田上)

上村・下村



農業委員
おおいし みつはる
大石 光治 (54 = 下村)



農地利用最適化推進委員
いしい たかお
石井 崇雄 (41 = 上村)

馬場・瀬戸口



農業委員
しのはら かずひさ
篠原 一久 (57 = 瀬戸口)



農地利用最適化推進委員
のだ みちはる
野田 美智晴 (68 = 馬場)

上里1・3



農業委員
くりあき れいこ
栗秋 玲子 (65 = 上里3)



農地利用最適化推進委員
いわの けいいち
岩野 敬一 (65 = 下染田)

上染田・下染田・中里1・2・下里・植木



農業委員
まえかわ としゆき
前川 敏幸 (64 = 上里1)



農地利用最適化推進委員
たかのり
西 貴則 (38 = 下染田)

中立委員



中立委員
はまさき むつこ
浜崎 睦子 (70 = 上里3)

ありがとうございました

【農業委員】

稲森 英雄さん

久保田 諭さん

【農地利用最適化推進委員】

松崎 榮喜さん

深水 幹郎さん

白川 栄二さん

1 暑さに負けず森づくり みらいの森ゆのま森林保全活動

7月11日、株式会社未来工房(金原望代表取締役＝福岡県)の社員14人と町林業関係者らが「みらいの森ゆのま」森林保全活動に参加し、汗を流しました。

同社とは令和6年12月に『企業・法人等との協働の森づくり みらいの森ゆのま』協定を締結。5年間かけて1.54㍊の町有林で森づくりを行います。今回は昨年5月に植え成長したセンダンの芽かきと、スギの下草刈りを行いました。

作業前に長谷和人町長は「今回で3回目となるみらいの森づくり。夏の暑さに気をつけて作業してもらえ

木が大きく真っすぐに育つように、参加者で協力して作業した



ればと思う。本日はよろしくお願いします」とあいさつしました。

2 実りを願って… 5年生が田植え体験

6月29日、学童農園(上里1区)で湯前小学校の田植え体験授業があり、5年生児童が手植えや田植え機の運転を体験しました。

JAくま青壮年部湯前支部の皆さんの指導を受けて児童たちは裸足で田んぼに入ると、足に伝わる泥の感触を体感。転びそうになりながらも、バランスをとっていねいに苗を植えていきました。田植え機の運転体験では、初めての操作で戸惑いながらも、真っすぐに苗を植え付ける児童も。手植えや機械操作の難しさを学び、実りを願いながら作業を進めました。

大きな機械に乗って田植えを体験



今回植えたもち米の苗は収穫後、11月に開催される「ゆのま漫画フェスタ」で販売予定です。

3 6年ぶりの復活を祝う くま川鉄道記念動画撮影プロジェクト

8月16日、くま川鉄道沿線で「くま川鉄道に手を振ろう 記念動画撮影プロジェクト」が開かれ、車両に手を振るために多くの人が集まりました。

同プロジェクトは、くま川鉄道株式会社が主催で行われたもの。全線運行再開するくま川鉄道を祝うため、沿線の風景と地域の皆さんの笑顔を撮影し記念動画を制作。9月10日に公開予定です。

湯前駅には「おかえり」と書かれた手作りのメッセージボードや応援フラッグなどを持った地域の皆さんが駆けつけ、笑顔で列車に手を振りました。

湯前駅・町内の沿道から笑顔で車両に手を振った



6年ぶりに全線開通するくま川鉄道。参加者は20日の復活を心待ちにしていました。

※くわしくは6ページに掲載

NEWS

◆ 超邪神ちゃん展！開催

9月19日～翌年1月11日まで、湯前まんが美術館特別展示室で『超邪神ちゃん展！』を開催します。

同展は、WEBコミック「COMICメテオ」で連載中のユキヲ先生によるコメディ漫画『邪神ちゃんドロップキック』がテーマの企画展。『邪神ちゃんドロップキック』は、2018年にテレビアニメ化され、2022年までに3シリーズが放送されています。自治体とのコラボも多く、熊本県高森町を舞台にした「世紀末編」は大きな反響を呼びました。

今回の『超邪神ちゃん展！』では、邪神ちゃんの“かわいい”と“不思議”が会場に大集結！魅力的なキャラクターがシリーズ全体に溢れている邪神ちゃんの見どころを、パネルや原画などで紹介します。

作品の世界に浸ることができるフोटスポットも会場内に設置。初めて邪神ちゃんに触れる人にもうれしい企画展になっています。町民の皆さんは入館無料ですので、ぜひ会場に遊びに来てください！

【邪神ちゃんドロップキックのあらすじ】

魔界の悪魔、通称「邪神ちゃん」は、ある日突然人間界に召喚されてしまう。彼女を召喚したのは、神保町のボロアパートで暮らすちょっとブラックな心を持つ女子大生「花園ゆりね」。邪神ちゃんを召喚したものの、彼女を魔界に帰す方法がわからない。

仕方なく一緒に暮らし始めた邪神ちゃんとゆりねだが、邪神ちゃん曰く「召喚者が死ねば魔界に帰れる」。

そこで邪神ちゃんがとった行動とは…!?



【超邪神ちゃん展！】

○会 期 9月19日～翌年1月11日

○開館時間 9:30～17:00

○入 館 料 (町外)高校生以上 1000円
中学生以下 500円

※12月28日～1月3日は休館

※湯前町民及び未就学児は無料

◆その他割引などの情報は、まんが美術館ホームページで確認できます



多田 颯希 学芸員



中尾 章太郎 学芸員

【公式キャラクターが誕生！】

湯前まんが美術館の公式キャラクターが誕生しました。キャラクターを描いたのは、美術館のグッズ開発やイラスト制作を行う地域おこし協力隊の津崎玄次隊員。今後、広報誌やホームページ・SNSなどで美術館の活動をお伝えしていきます。



どんなキャラクター？

都会から訪れた画家志望の元気いっぱいな大学生。

湯前町のきれいな風景、町民のあたたかな人柄、そしてなにより湯前まんが美術館に魅了され、夏休み期間中アルバイトをしながら滞在することに。

美術館の魅力を伝えていくため奮闘中！

頭の上ののっているのは都川で溺れていたサカナ。助けたことをきっかけに、サカナのケガが治るまで常にいっしょ。

公式キャラクターの名前を大募集！

●募集期間

9月1～30日

●応募方法

下のQRコードから応募できます

●必要事項

・キャラクターの名前

・キャラクターの名前の由来(100字程度)

・応募者の情報

※1回の応募につき、応募できる名前は1点のみ

※何度でも応募可能

●参加賞

応募者の中から抽選で美術館オリジナルグッズをプレゼント

◆その他

・採用名称の商標登録を受ける権利および著作権(著作権法第27条および第28条を含む)、その他一切の知的財産権は美術館に帰属または移転します

・必要に応じて補作や修正を行うことがあります

・応募者の個人情報は本募集に関する目的の範囲内でのみ使用します

・応募者氏名は公表しません

・応募をもって上記の内容に同意したものとみなします

※決定した名前は、ことし11月に発表予定です



右のQRコードを読み取って応募→



よりぬき りょうすけギャラリー

ユーモアあふれる那須先生の作品を紹介！

ガワッパ(河童)は変幻自在の化物で、ガワッパと親類づきあいをしたといわれる小川芋銭画伯の絵でも分かるように、頭上に皿をいただき、くちばしは鳥の如く、背には亀の如き甲羅をつけている。私の村の古老の話では、馬の足跡の水溜りだけにでも九万九千九百九十九匹のガワッパが住んでいるそうである。どういう訳で十万匹いないのかが不思議であるが、古老もその訳を知らない。

那須良輔『釣り道楽』
(1964,127頁)



故 那須 良輔 先生



『河童親子秋風』 ※『常設展示室』にて展示中(9月まで)

HP・SNS

ホームページやSNSで、まんが美術館の最新情報を発信中。ぜひご覧ください！(@yunomae_manga)



ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram

本の世界

今月のおすすめ

中央公民館図書交流棟 ☎0966 (43) 2050
【平日】8:30～17:00
【土日・祝】9:30～17:00

■秋の夜長の知的好奇心の旅。想像力を働かせて、思いもよらない場所まで出かけよう！

月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった

川代 紗生(著)
サンマーク出版

「いつも、二番目。私を一番に思ってくれる人は、誰もいない。それでも私は——ひとりぼっちじゃ、なかった。」“ままならない気持ち”の名手、川代紗生の新作・書き下ろしが登場！共感とおいしさのつまった、なんとも読みたくなる1冊です。

宣伝は差異が全て

柳瀬 一樹(著)
太田出版

本来は1期で終わるはずだったマイナー作品がどのように他者との差異を描いて生き残ってきたのか？そのエッセンスはきっと宣伝、広告、販売を業務とする皆さん、そして就職・転職活動、オーディションなどに挑む皆さんのお役に立つはずです。

もりのあさ

出久根育(著)
偕成社

女の子は、朝もやが残るころにカゴを持って森へと出かけていきます。目の前にある森は、夜になるといったいどんな様子をしているのでしょうか？みずみずしい朝の森と、密やかな夜の森が絵本の中に広がります。

おいしいお米をつくりたい！

谷本 雄治(著)
汐文社

「ゆうちゃん」こと新宅佑輔くんは、農家の中井知広さんのお米が大好き！小学2年生で弟子入りし、休耕田で米づくりをはじめます。おそいかかる台風、害虫、雑草…。ゆうちゃんの挑戦と人々の交流を描く、感動のノンフィクション。

保健

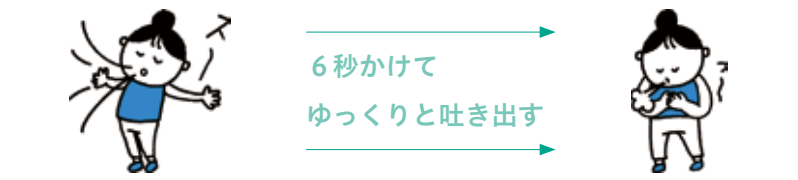
こころのケアを大切に
地震後のこころとからだの変化

地震のように重いストレスにさらされると、誰でも不安や心配などの反応が現れます。まずは休息や睡眠をとることが大切です。多くの場合時間とともに回復しますが、長引くこともありますので早めに対応しましょう。

大人も子どもも声をかけ合い、周りの人をほめたりつながりを意識したり、こころのケアも大切にしましょう。

ゆっくり呼吸

不安や心配をやわらげるため、軽く息を吸い6秒かけてゆっくり吐き出します。朝・夕に5分程度、早速実践してみましょう



相談しよう

次のようなときは無理をせずに、身近な人や専門の相談員などに話してみよう

- ①心配でイライラする・怒りっぽくなる
- ②眠れない
- ③動悸・息切れ・苦しく感じる

〈子どもの反応〉

災害が起きると子どもたちにはいろいろな変化が起きることがあります

- ◆赤ちゃん返りしたり、甘えが強くなる
- ◆音などに敏感になり、寝つきが悪くなる
- ◆わがまま、ぐずぐずや表情が乏しい
- ◆反抗的、乱暴
- ◆災害体験を遊びとして繰り返す

周囲の人たちの対応方法

- ◆一緒にいる時間を増やす
- ◆話を否定せず聴く
- ◆話しながらないことを無理に聞き出さない
- ◆抱きしめる、背中をさするなどのスキンシップを増やす
- ◆災害体験の遊びは落ち着くためのプロセスと捉え、無理に止めない

(参考・引用)厚生労働省HP、熊本県精神保健福祉センター作成チラシ、ニキハーティーホスピタル作成チラシ
保健師 野々原 亜紀

栄養・歯科

備えておきましょう！
災害時に役立つオーラルケア用品

災害時には貴重な水を歯みがきに使うことをためらいますが、ケアをしなければ口の中で細菌が繁殖します。高齢者は誤嚥性肺炎を発症しやすくなるなど、健康にさまざまな影響を及ぼすことも。液体歯みがきなどを備え、口の中を清潔に保つことが重要です。

▼ケア用品と特徴

引用：公益社団法人 日本歯科医師会

歯ブラシ・歯磨き粉	災害時も歯ブラシでの歯磨きケアが基本。水を使えば普段と同じオーラルケアを
歯間ブラシ・デンタルフロス	歯磨きができない状況でも、歯間の歯垢を落とすことができる。口臭や歯肉炎予防に有効
デンタルリンス(液体歯磨き)	歯磨き粉の代わりに口を洗浄・殺菌できる。ブラッシング前に使用し水でのすすぎは不要
マウスウォッシュ(洗口液)	歯磨きが難しいときの代用に。口臭や不快感を軽減し、気分のリフレッシュにも役立つ
入れ歯洗浄剤・ケース	入れ歯の洗浄に有効。使用するときはケースと水が必要
紙コップ	水やデンタルリンスでのすすぎなどに使用。使い捨てができて衛生的

環境

台風が来る前に！
家の周りを片付けましょう

プラスチックは太陽光で分解され細かく碎けると「マイクロプラスチック」と呼ばれる小さなプラスチックごみとなり、回収が困難になります。

近年、プラスチックごみによる海の汚染が地球規模で問題となっています。海に流れ出たプラスチックごみの多くは、私たちの日々の生活で発生し、雨や風で川に流されて海へと流れ着いたものがほとんどです。プラスチックごみの海への流出を防ぐため・近隣への迷惑とならないように、大雨や台風が来る前には、自宅周辺の片づけをお願いします。普段からごみの原料か・リサイクル品の分別も心がけましょう。

● リチウムイオン電池を回収します

リチウムイオン電池は充電して繰り返し使用することができる電池です。モバイルバッテリーやハンディファンなど、さまざまな製品に使われています。強い衝撃が加わると発火するため、全国的にごみ収集車やごみ焼却施設などで火災が発生しています。処分するときは町収集ごみで捨てず、保健福祉課や購入店、リサイクル協力店に相談してください。

※保健福祉課の窓口で回収しています(受付時間 8:30～17:15)

膨張・破損・水濡れしたものは事前連絡が必要です



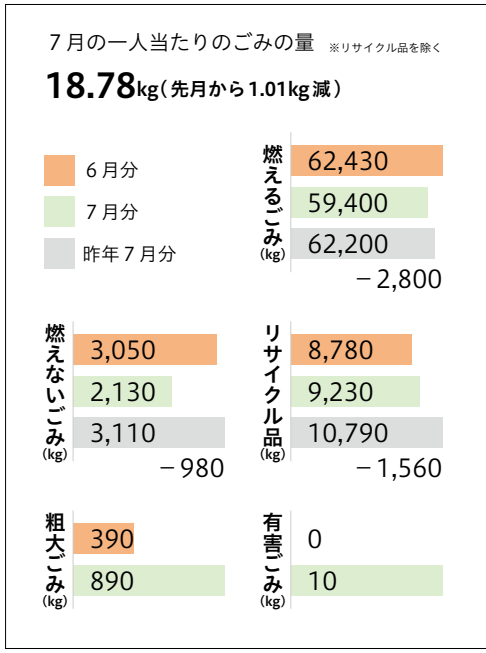
▼「もしも」のときこそ「いつも」のことを

災害の状況や使う人によって、必要なものは変わってきます。いざという時に「使えない」「合わない」ということがないよう、普段から使用感を試しておくことが大切です。持ち運びしやすいトラベルセットや、コンパクトなものもあるので手軽に使えて備えられます。

災害時には大きな変化により心が傷つけられることが多く、日常と変わらない行動が心の安定につながります。いつもの習慣として、使いながら備えるようにしましょう。



栄養士 福屋 英恵



9月の不燃物収集は

2・16日(第1・3水曜日)です

保健福祉課 ☎0966(43)4112

学校が地域を元気にする！地域が学校を元気にする！

地域と学校が協働する活動

学校・子どもたちを地域で支える

地域学校協働本部は、学校の教育活動に地域住民が参加し支援するために作られた「学校の応援団」です。本町では湯前小・中学校で開かれる調理実習や自転車点検、職場体験など、学校でのさまざまな活動に参加。地域の皆さんへの支援の呼びかけも行っています。委員の皆さんが支援をお願いすると、快く引き受けてくれることがほとんど。その気持ちがうれしいと、委員の皆さんは話しています。

“地域の子どもたちは地域で育てる”という気持ちを持っている人が多いと感じます。支援で学校に出かけると元気いっぱいの子どもたちと話をしたり、ともに活動することも。大人である私たちも元気をもらったり楽しかったりと、喜びももらえます。

まちの皆さんにも、一度は学校支援を経験してもらいたいと思います。まちの子どもたちの将来のために、そして自分の元気のために、あなたの一歩を踏み出してみませんか？

問合せ先 湯前町教育委員会 ☎0966(43)2050



地域学校協働本部		
職 名	氏 名	所 属・地 区
本部長	栃原 秀明	
推進員	金山 則子	下村
地域連携職員	山下 苑子	湯前小学校職員
	力田 淳一	湯前中学校職員
コーディネーター	工藤 正明	馬場
	永山 佳和	湯前町商工会
	的場 久美	浅鹿野
	永山 治実	上猪
	永濱 利恵	浜川
	亀山 あやめ	野中田2
	久保田 直樹	瀬戸口
	濱中 誠	野中田2

こんにちは、
地域学校協働本部です！

青年団だより

湯前町青年団は、まちのお祭りやイベントで焼きそばなどを販売しています。

8月1日、湯前保育園夕涼み会で出店しました。会場を盛り上げようと、他町村の青年団員も駆けつけ協力。たくさんの人に青年団の焼きそばを味わってもらえたことがうれしかったです。

秋にかけてイベントの数が増えていきます。まちの盛り上げ役として精力的に活動していきます！



夕涼み会で焼きそばを販売！



私たちと一緒に活動しませんか？

就職などで初めて湯前町にきた人や湯前町に久しぶりに帰ってきた人など、同年代の友達ができたり、まちのことを知ることができるチャンスです！主な活動内容は公式Instagramで発信中。ぜひチェックしてみてください！



←《青年団公式Instagram》
@yunomaeseinendan



広報部長 中田 優輝

B&G だより

7月20日海の日、海洋センタープールで水辺の安全教室を開きました。上球磨消防署協力のもと、酸素ポンペを背負っての救助や救助用ロープを使った本格的な救助法を目の前で見学。スピードと迫力に驚きました。参加者は実際にロープを使った救助を体験。とても貴重な経験になりました。

教室の後半では、町B&G 指導者会が水辺での事故を防ぐ学習とSUP 体験を行いました。ライフジャケットだけではなく、身の回りにあるペットボトルやランドセル、クーラーボックスでも浮くことを体験を通して学びました。

夏休みが終わり、水辺で遊ぶ機会が減っていきますが、水辺の事故は夏だけに起こるものではありません。釣りや水辺への転落など冬でも事故は起き、年々増加しています。もしもの時に備えて水辺での危険について学ぶことも「自分の命は自分で守ること」につながると感じた教室でした。



1_ 救助で使う酸素ポンペを実際に見せてもらい説明を聞く 2_ 体験を通して、楽しく水辺の安全を学んだ

B&G 海洋センター 尾方 皇太

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町



町 章



町の鳥「メジロ」



町の花「ツツジ」



町の木「ヒノキ」



町ホームページ



町公式LINE



町公式instagram

編集後記

▼猛暑が続いたことしの夏。祭りや大会、クラブの練習、キャンプなど町内でさまざまな活動があり、全力で取り組んでいた姿が印象的でした！まだまだ暑い日が続いていますが、虫の鳴き声が変わってきたような…。暑い暑いと言いつつも、少しずつ秋が近づいています。

▼いよいよ全線開通するくま川鉄道の記念動画撮影プロジェクトで湯前駅へ。終着駅であり始発駅でもある湯前駅。それぞれの思いを詰め込んだ手作りのグッズを持ち、列車を迎え、送り出しました。駅だけではなく、沿線にもまちの皆さんが駆けつけ、くま川鉄道を全力応援。全線開通が待ち遠しいです。

▼運動の記録が残るスマートウォッチ。前回の記録を見るとなんと昨年の9月3日！完全なる運動不足に衝撃を受けました。学生時代の「貯筋」も底を突いたことで、古傷が痛む上にケガも増加。未来の自分のためにも少しずつ運動します(佳)



1 チームの中心となった3年生。日ごろから互いに目標を共有し合うほど、野球に対する意識が高い。チームを引っ張り、心をつにして大会に挑んだ 2 昨年度の悔しさを力に変え、九州大会でも活躍を見せた木村さん

県中体連で初優勝を飾る

NEXUS 球磨、九州大会でベスト8

7月11・12・18日の3日間、水前寺野球場・熊本県民総合運動公園(熊本市)で熊本県中学校総合体育大会軟式野球競技が開催。^{あきひこ}澁谷明彦さん(下里)が監督を務め、湯前中の生徒も7人所属する軟式野球チーム『NEXUS 球磨』^{※ネクサス}が見事優勝し熊本県代表として九州大会に出場しました。

県大会では準決勝で強豪の鶴城中(宇城市)を相手に2-1で接戦を制し、勢いそのままに決勝戦では錦ヶ丘中(熊本市)に5-1で快勝。見事優勝し、九州大会への出場権を獲得しました。

九州大会では初戦で前年度優勝の日章学園中(宮崎県)をタイブレークの末、5-3で下したものの、準々決勝で西有田中(佐賀県)に2-4で敗退。ベスト8で大会を終えました。

澁谷さんは「昨年の県大会では、1回戦負けで悔

しい思いをした。その悔しさをバネに練習を積み重ねて掴んだ勝利。先輩たちのリベンジを果たした。九州大会出場を決め、たくさんの応援の声を掛けてもらった。地域の人から応援してもらっていると感じた」と話しました。

予選から主力として試合に出場し、九州大会で適時二塁打を放つなど活躍を見せた木村^{ゆうしん}勇風さん(湯前中3年=中里1)は「毎試合“まずは1勝”という気持ちをみんなで持ち、大きい声を出して元気よくプレーすることを心がけた。九州大会に出場できたことはうれしかったが、準々決勝で負けてしまい“もっとみんなと試合がしたかった”という気持ちが一番にある」と、最後まで仲間と戦いたかったという思いを話しました。

※球磨人吉の中学生を対象とし、現在1・2年生25人が所属

町民憲章 Town's People Charter

- 一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
- 一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
- 一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
- 一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。



8月の表紙

大きなスイカ、割れるかな？
8月7日に夏祭りごっこが開かれました。お楽しみのスイカ割りでは、大きなスイカの登場に大喜びの園児たち。しっかりと目をつぶり、周りの応援の声を頼りにスイカまでそろりそろり。力一杯に棒を振り、見事にスイカが割れました。

撮影場所 慈光こども園